

「社会貢献活動推進セミナー」平成24年12月19日（水）12時50分～17時・ウインクあいち

# 持続可能な福祉社会を目指して、社会貢献活動の原点を考える！

～身近な地域での支え合いの事例を通して～

平成24年12月19日（水）にウインクあいち（愛知県産業労働センター）で、170名の参加者により「平成24年度社会貢献活動推進セミナー」を開催しました。

講師の鈴木均氏は、豊かな海外経験やNEC社会貢献室長等の経験から、企業が社会的課題解決の視点を持つことの重要性や、社会貢献活動、特にボランティア活動が社員の人材育成に有効であり、企業の発展のためにも社員が消費者ニーズを知り、チームワークやリーダーシップ、起業家精神を育てる機会として社会貢献活動を行うことの有効性を語られました。

続くシンポジウムでは、地元企業、住民参加型団体、シニアのまちづくりに関わる3名のパネリストから、独自の視点や工夫によるそれぞれの活動内容をお話いただき、参加者の共感を得ることができました。



シンポジウムの様子

## 主な内容

### ○講演

「地域社会のパートナーと共に育む、持続可能な福祉社会～企業の社会貢献活動の潮流変化と変わらぬ原点～」  
 〈株〉国際社会経済研究所代表取締役社長 鈴木 均氏  
 〈兼務・日本電気（株）CSR・環境推進本部主席幹事〉

### ○シンポジウム

（パネリスト）  
 タニザワフーズ（株） 代表取締役社長 谷澤 憲良氏  
 NPO法人ワーカーズかすがい 理事長 森長 節子氏  
 知多市まちづくり人材育成事業「大人の学校」 卒業生 倉前 秋雄氏  
 （コーディネーター）  
 〈株〉国際社会経済研究所 代表取締役社長 鈴木 均氏

### ○終了挨拶

愛知県社会福祉協議会 ボランティアセンター 運営委員長 鈴木 盈宏氏

## セッションアピールタイムが行われました。

講演とシンポジウムの合間に、講師やパネリストを囲んで、別会場に参加者からの質問を受けていただきました。鈴木均氏には、企業から「社会貢献プログラム評価制度」について、NPOからは、企業へのアプローチ方法についての質問がありました。

谷澤氏（タニザワフーズ）には、地元社協から協働事業の提案等もあり、ワーカーズかすがいの森長氏には、多世代共生サロンの運営や、買物難民への対応方法などの質問が出ました。また、大人の学校の倉前氏には、シニアボランティアとして活動を継続するためのコツについての質問も出、和気あいあいの内に質疑応答が行われました。

もう一つのコーナーでは、アピールタイムが持たれ、9団体から活動紹介がありました。短時間ではありましたが、各参加団体の皆さんの思いが参加者に伝わり、有意義な時間となりました。

### 【参加団体】

- 豊田商工会議所
- （株）NTTドコモ東海支社
- 名古屋トヨペット（株）
- NPO法人セカンドハーベスト名古屋
- 日本介助犬協会
- NPO法人ネットワーク大府
- 愛知県おもちゃ図書館連絡協議会
- 愛知県被災者支援センター
- 愛・地球博ボランティアセンター



アピールタイムの様子

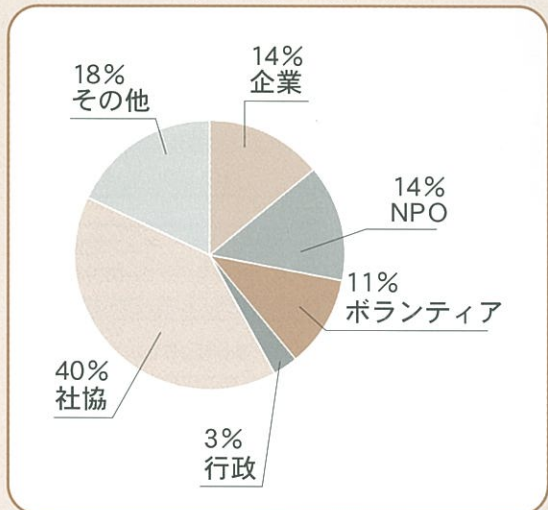


## ★「社会貢献活動推進」の課題整理

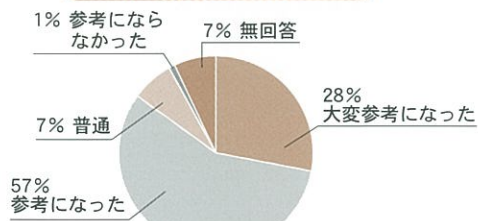
（アンケート集計結果から）

- ・調査票配布数 セミナー参加者 170名
- ・有効回答数 72件（二部の回答を含む）
- ・有効回答率 42%

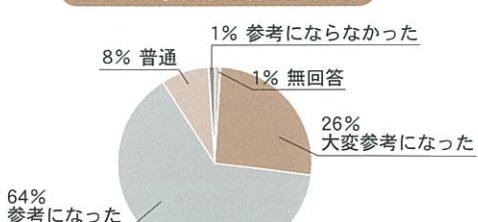
### 〈参加者の構成〉



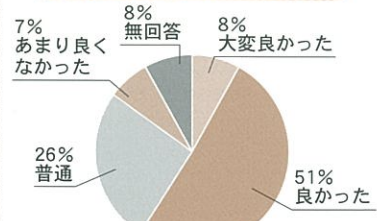
### 1 講義について



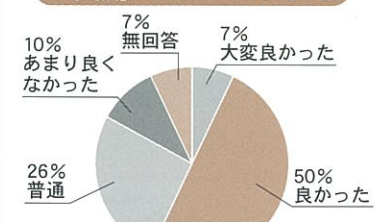
### 2 シンポジウムについて



### 3 活動紹介コーナーについて



### 4 交流コーナーについて



県社協では、平成22年度に「企業の社会貢献活動推進セミナー」の第1回を開催し、企業の社会貢献活動推進に着手しましたが、その後の東日本大震災のこともあり、企業だけでなく広く社会貢献推進の機運を盛り上げる必要を感じ継続して社会貢献活動推進セミナーを開催することとなり、今年度が3回目の開催となりました。